

- 第6期「科学技術・イノベーション基本計画」(2021~2025年度の5ヵ年)の5年目の年次戦略として、国内外の情勢変化や科学技術・イノベーションを巡る動向等を踏まえつつ、第6期基本計画の総仕上げを行うとともに、第7期基本計画に向けた議論の内容も踏まえて、科学技術・イノベーション政策におけるガバナンス強化の観点も含めて取組を推進する。

<第6期基本計画の総仕上げとしての取組の推進>

先端科学技術の戦略的な推進

- **重要分野の戦略的な推進**
 - ・ AIイノベーション促進とリスク対応の両立、次世代情報通信基盤の開発・導入の推進
 - ・ 量子、フュージョンエネルギー、マテリアル、バイオ等の研究開発の推進
 - ・ 健康・医療、宇宙、海洋、食料・農林水産、環境・エネルギー分野の推進
- **経済安全保障等に係る取組強化**
 - ・ K programによる研究開発支援
 - ・ 安全・安心シンクタンク設立の具体化
- **研究開発・社会実装の推進**
 - ・ SIP、BRIDGE、ムーンショット型研究開発の推進
 - ・ 災害対応力強化に向けた研究開発の推進

知の基盤(研究力)と人材育成の強化

- **国際卓越研究大学・地域中核大学の支援等**
 - ・ 国際卓越研究大学の第2期公募・助成開始
 - ・ 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージによる支援
 - ・ 基盤的経費の確保、科研費等の競争的研究費を通じた研究力の一層の強化
- **研究施設高度化、オープンサイエンス推進**
 - ・ 研究施設の高度化・共用化の推進
 - ・ 学術論文等のオープンアクセス化の推進
- **人材の育成・活躍促進**
 - ・ 産学によるアクションプランを踏まえた産業界における博士人材の活躍促進

イノベーション・エコシステムの形成

- **研究開発型スタートアップ支援**
 - ・ SBIR制度等による継続的な支援
 - ・ スタートアップからの公共調達促進
- **都市・地域・大学等の連携**
 - ・ スタートアップ・エコシステム拠点都市の強化・グローバル化支援
 - ・ 産学連携、オープンイノベーションの推進
 - ・ グローバル・スタートアップ・キャンパス構想の推進
- **人材・技術・資金の好循環促進**
 - ・ イノベーションを支える人材の育成等

<第7期基本計画に向けた議論の内容も踏まえた取組の推進>

経済安全保障との連携強化

- ✓ 重要技術の研究開発の推進
- ✓ グローバル戦略の推進
- ✓ 研究セキュリティ・インテグリティの取組の徹底

研究力の強化、人材の育成・確保

- ✓ 大学等の運営・研究基盤の強化
- ✓ 人材の育成・確保、若手研究者の支援
- ✓ 国際頭脳循環、研究の国際化の推進

イノベーション力の向上

- ✓ 地域イノベーションの推進
- ✓ 知財・国際標準戦略の推進
- ✓ 重要技術領域の研究開発投資促進等

(参考)「統合イノベーション戦略」について

- 「統合イノベーション戦略」は、「科学技術・イノベーション基本計画」に基づく年次戦略として、毎年策定しているもの。
- 基本計画において示された中長期的な政策の方向性を踏まえつつ、特に重点を置くべき施策等を取りまとめているもの。

<第6期「科学技術・イノベーション基本計画」(2021~2025年度)における統合イノベーション戦略の概要>

統合イノベーション戦略2021

重点施策として以下を推進。

- ・安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革
- ・知のフロンティア開拓、研究力の強化
- ・多様な幸せと課題挑戦を実現する教育・人材育成
- ・官民連携による分野別戦略
- ・資金循環の活性化
- ・司令塔機能の強化

統合イノベーション戦略2022

科学技術・イノベーション政策の3本の柱として、

- ・知の基盤(研究力)と人材育成の強化
- ・イノベーション・エコシステムの形成
- ・先端科学技術の戦略的な推進

を掲げるとともに、分野別戦略間の連携により、勝ち筋に直結する研究開発を推進。

統合イノベーション戦略2023

科学技術・イノベーション政策の3つの基軸として、

- ・先端科学技術の戦略的な推進
- ・知の基盤(研究力)と人材育成の強化
- ・イノベーション・エコシステムの形成

を掲げるとともに、これらを支える国研・FAの機能強化等を推進。

統合イノベーション戦略2024

3つの強化方策として、

- ・重要技術に関する統合的な戦略
- ・グローバルな視点での連携強化
- ・AI分野の競争力強化と安全・安心の確保

を推進するとともに、従来からの3つの基軸についても引き続き着実に政策を推進。

(参考)第6期「科学技術・イノベーション基本計画」の進捗状況

- 現在、第6期「科学技術・イノベーション基本計画」(2021年3月26日閣議決定)を踏まえ、具体的な取組として、①先端科学技術の戦略的な推進、②知の基盤(研究力)と人材育成の強化、③イノベーション・エコシステムの形成の3つの柱を基軸に、取組を推進している。
- 具体的には、経済安全保障重要技術育成プログラム(K program)の開始や、10兆円規模の大学ファンドの創設・東北大学への助成開始、SBIR制度の抜本的な拡充などに取り組んでいる。

先端科学技術の戦略的な推進

<分野別戦略に基づく取組>

- AI戦略会議・AI制度研究会 中間とりまとめ(2025年2月)
- 人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律案(AI法案)(2025年2月閣議決定)
- 量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター(G-QuAT)(2023年7月設立)
- フュージョンエネルギー産業協議会(2024年3月設立)、安全確保の基本的な考え方(2025年3月決定)

<安全・安心の確保に向けた取組>

- K programの開始(2021・2022年度補正予算計5,000億円)、研究開発ビジョン(第一次:2022年9月策定、第二次:2023年8月策定、2025年3月改定)
- 安全・安心に関するシンクタンクの設立準備

<研究開発・社会実装の強化>

- SIP第3期(2023~2025年度当初予算までの計840億円)、BRIDGE(2023~2025年度当初予算までの計300億円)
- ムーンショット型研究開発制度の推進(2018年度補正~2024年度補正予算までの計4,114億円)

知の基盤(研究力)と人材育成の強化

<研究基盤の強化と大学改革>

- 10兆円規模の大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援(2025年2月、東北大学への助成開始)
- J-PEAKSの採択(計25件)など、地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ(2025年2月更新)による支援

<人材育成・活躍促進>

- 産学によるアクションプラン取りまとめ(2024年7月)など、産業界における博士人材の活躍促進

<同志国・パートナー国との連携>

- 国際連携(G7仙台科学技術大臣会合等)
- オープンアクセス基本方針(2024年2月策定)
- 研究セキュリティ・インテグリティの確保(ガイドライン策定に向けたモデル事業の実施(2025年2月公募開始))

イノベーション・エコシステムの形成

<スタートアップ育成>

- グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラムの推進
- スタートアップ・エコシステム拠点都市(8拠点)の機能強化
- SBIR制度抜本拡充(2022年度補正予算2,060億円)
- スタートアップの公共調達促進
- グローバル・スタートアップ・キャンパス構想基本方針(2024年8月策定)

スタートアップ・エコシステム拠点都市

- 2020年7月、ディープテック・スタートアップの創出・成長を目的として、地域ごとに、地方自治体、大学、産業界によるコンソーシアムの形成を促すため、これらを「スタートアップ・エコシステム拠点都市」として8地域で選定した。
- 以降、政府と地域の産学官金が連携して総合的な支援を提供。

第1期スタートアップ・エコシステム拠点都市

- 2020年7月、スタートアップ・エコシステム形成の潜在力（スタートアップ・支援者の活動、地方自治体・大学等の取組、人口集積等）を有する8地域で選定

グローバル拠点都市：4か所
東京圏、中部圏、京阪神、福岡市

推進拠点都市：4か所
札幌・北海道、仙台市、広島県、北九州市

- 各拠点都市では、産官学金で一体となって支援し、一定の成果をあげている

<成果に貢献した要素>

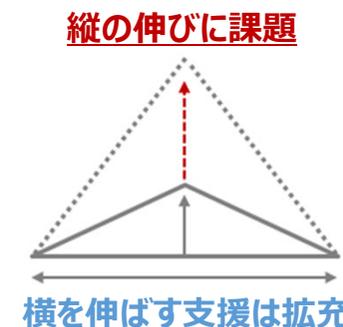
- 「**知の拠点**」である**大学との連携**
- 産官学金の**組織を超えたネットワーク**（拠点都市での核となる人材の存在）
- 各都市で**シンボルとなる場の存在**（インキュベーション施設等の存在）

5年間の進展と残された課題

- スタートアップ・エコシステムの「裾野」は拡大、「高さ」は途上

<5年間の進展>

- **大学発を含むスタートアップ創出数増加**
- 行政課題解決プロジェクト創出数やビジネスマッチング件数等の**共創数増加**
- 各都市**エコシステム内の繋がり**は形成途上



<残された課題>

- **グローバルに稼げるスタートアップ**を十分に創出できていない
- **投資などの面で、海外のスタートアップ・エコシステムとの繋がり**が十分に構築できていない

KPIの達成状況（東京圏の例）

KPI	KPI	開始時	実績
大学発SU創出数	倍増	533社	1,643社
行政課題解決PJ創出数	50件	0件	198件
ユニコン数	20社	3社	15社



スタートアップの成長を加速させるために、
拠点都市を**世界トップレベルのスタートアップ・エコシステム**へ
引き上げることが重要

第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成加速化プラン

- 第1期（2020～2024年度）の8都市に加え、今般、新たに拠点都市として5都市を選定し（第2期（2025～2029年度））、加速化プランの下で集中的に支援を実施していく予定
- 「令和の日本列島改造」の柱である「地方イノベーション創生構想」の具体化を図る

第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成加速化プラン（概要）

- スタートアップの成長を加速し、グローバルに稼げるスタートアップを創出するため、地域経済活性化とグローバル化を両立するエコシステムを形成。

【加速化1】

グローバルに稼げるスタートアップを創出する拠点都市の形成

- グローバル化支援の強化を通じて現8都市の取組を加速化
- 新規5都市の選定を通じて日本全体の取組を加速化

【加速化2】

スタートアップ支援の重点化と集中支援

- 地域発有望スタートアップの発掘・重点支援により、日本を代表するスタートアップへの成長を加速

【加速化3】

政府・拠点都市ネットワークの強化

- 政府・拠点都市間ネットワーク Startup City Project Network により、各拠点が共通の課題を認識し解決できる体制を構築

グローバル拠点都市

第1期の8都市全て
グローバル拠点都市へ発展

世界に通用する都市の産業・研究ポテンシャルを發揮し、
海外エコシステムと連携して世界的ネットワークを形成する拠点都市

- 札幌・北海道 ● 東北圏 ● 東京圏 ● 中部圏
- 関西圏 ● 広島 ● 北九州 ● 福岡

● 広域 ● 中核

KPI（東京圏の例）

ユニコーン数

エコシステムの世界ランキング

第1期末

15社(5年累積)

10位

FY2029末

15社/年

5位以内

NEXTグローバル拠点都市

新規で5都市選定

地域の尖がった産業構造やリソースを活かし、地域経済を活性化しながら海外エコシステムにも繋がる拠点都市

★北陸【富山県、石川県、福井県】 ★長野×新潟

★瀬戸内【愛媛県、岡山市】 ★熊本 ★沖縄

第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市 一覧

グローバル拠点都市

世界に通用する都市の産業・研究ポテンシャルを発揮し、
海外エコシステムと連携して世界的ネットワークを形成する拠点都市

札幌・北海道 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会[中核]

「宇宙・食・再エネ等を軸に、GX・AIで世界から人材・投資を誘引」
【札幌市、北海道等】

- ✓ 強みである上記3分野において、GX・AIスタートアップへの伴走支援体制を強化（STARTUP HOKKAIDO実行委員会を通じ迅速・柔軟な体制を構築）

東北圏 仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム[広域]

「課題解決先進地域の実現に向けた大学発スタートアップ創出」
【仙台市、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県等】

- ✓ 復興・人口減等の課題解決に資する実証フィールド提供、医療・材料・防災等で社会的インパクトを有する大学発スタートアップへの徹底支援

東京圏 スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム[広域]

「世界・全国のエコシステムとの広域連携の推進」
【茨城県、つくば市、埼玉県、千葉市、東京都、渋谷区、神奈川県、横浜市、川崎市等】

- ✓ 大企業や大学が集積する強みを活かし、日本全国をつなぎ、さらには、日本全国と世界のスタートアップ拠点をつなぐ結節点となる

中部圏 Central Japan Startup Ecosystem Consortium[広域]

「ものづくり産業の世界的な集積と競争力により世界への道を拓く」
【愛知県、名古屋市、浜松市、岐阜県、三重県、静岡県等】

- ✓ モビリティ、マテリアル等の分野におけるものづくり技術や生産ノウハウなどを世界のスタートアップの革新的な技術やビジネスモデルと融合させ、イノベーションをリードするグローバルな拠点を形成

関西圏 大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム[広域]

「ライフサイエンス、グリーン、デジタルを中心としたグローバル化」
【大阪府、大阪市、堺市、京都府、京都市、兵庫県、神戸市等】

- ✓ 万博を起爆剤に、世界との繋がりを強化し、ディープテック分野を軸に、大学の研究力や地場・中堅企業における技術力等の強みを活用したスタートアップ支援の強化

広島 広島地域イノベーション戦略推進会議[中核]

「産学金官言連携によりイノベーションへの挑戦をサポートする土壌」
【広島県等】

- ✓ 自動車・造船・鉄鋼の基幹産業や、広島大学の最先端ライフサイエンス技術を活かした産学金官言連携の実現

北九州 北九州市スタートアップエコシステムコンソーシアム[中核]

「ものづくり・グリーン等の世界的サステナブルシティ」
【北九州市等】

- ✓ 鉄鋼やロボット等のものづくり大企業や、リサイクル企業の集積地「北九州エコタウン」等を軸にグリーンテック・スタートアップを創出

福岡 福岡 RAMEN TECH コンソーシアム[中核]

「アジアNo.1のスタートアップ・フレンドリーシティ」
【福岡市等】

- ✓ 「RAMEN TECH」をキーコンテンツとした、アジア等の海外都市と国内他拠点を繋ぐゲートウェイとなる拠点の実現
※RAMEN TECH: Revolutionizing Asia: Merging Ecosystems & Networks - Tech

【広域】 広域都市圏型：複数都市（※複数の都道府県域内の自治体）の量的なポテンシャルを集積・発揮し、多層的な産学金官で構成するエコシステム

【中核】 中核都市型：核となる都市の特異なポテンシャルを発揮し、多様な産学金官で構成するエコシステム

第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市 一覧

NEXTグローバル拠点都市

地域の尖がった産業構造やリソースを活かし、
地域経済を活性化しながら海外エコシステムにも繋がる拠点都市

北陸 北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム

「多様な製造業の集積を核に、世界へ飛躍するスタートアップを輩出」
【富山県、石川県、福井県等】

- ✓ 医薬・ヘルスケア、建設・産業機械、繊維・宇宙に代表される製造業が集積する強みを活かし、3県が連携

長野×新潟 REGIONAL NEXUS HUB ~NAGANO・NIIGATA~

「ものづくり・食などの地域資源を活かしたスタートアップの創出と集積」
【長野県、新潟県等】

- ✓ 精密・金属加工等のものづくり産業や発酵食品等のフードテックを活かしたスタートアップ創出と、山岳地帯や河川・海による水資源に恵まれた自然環境を特色とする実証フィールドの提供

瀬戸内 瀬戸内スタートアップコンソーシアム

「実証フィールド『SETOUCHI』を活用した産業集積」
【愛媛県、岡山市等】

- ✓ 海・島・山などの豊かな自然資源と、造船業・鉄鋼業等の製造業や養殖業・果樹農業等の農林水産業などの産業が集積した『巨大実証フィールド』の活用

熊本 くまもと版スタートアップ・エコシステムコンソーシアム

「半導体・デジタル分野等でのグローバル・スタートアップを創出」
【熊本県、熊本市等】

- ✓ 半導体・デジタル分野を中心に、医薬・農水産業分野へ展開し、グローバル・スタートアップの創出・成長を支援

沖縄 おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム

「未来型ブルーエコノミー拠点」
【沖縄県等】

- ✓ 島しょ地域の特徴を活かした観光・ヘルスケア・エネルギー・サーキュラーエコノミー分野でのグローバル・スタートアップの創出と誘致

